

和歌山県立医科大学次期中期目標の考え方

【現中期目標等における中間総括評価結果】

中期目標・中期計画の達成に向けて、全体的に概ね順調に進んでいる。

- 現中期目標の継承・発展
- 新規・重点項目の設定

【中期目標の期間】

平成24年4月1日から平成30年3月31日まで

【次期中期目標・中期計画で重点的に取り組むべき事項】

教 育	○人間教育の実施による倫理観をもった医療人の育成
研 究	○重点的取組分野における先進的・独創的研究の推進
病 院	○がん対策・救急医療の強化 ○業務の効率化と財務内容の改善
地域貢献	○公的病院・診療所との連携強化・支援
運営・組織	○法令・倫理等の遵守及び内部統制システムの構築 ○教職員の人材育成

公立大学法人和歌山県立医科大学次期中期目標概略（案）

【法人の基本的な目標】

- (1) 高等教育及び学術研究の水準の向上に資する。
- (2) 高度で専門的かつ総合的な能力のある人材の育成を行う。
- (3) 高度で先進的な医療を提供する。
- (4) 地域の保健医療の発展に寄与する活動を行う。
- (5) 地域に生涯学習の機会を提供する。
- (6) 地域社会との連携及び産学官の連携を行う。

【中期目標の期間】

平成24年4月1日～
平成30年3月31日まで

自主性・自律性を発揮して活性化
地域・社会への貢献、開かれた大学

法人は、中期目標を達成するため、具体的な施策を検討し、中期計画を策定

自己点検・第三者評価の実施、情報公開

教育研究等の質の向上

業務運営等の改善

【教育】

1 教育の内容及び成果

- 和歌山県の地域医療に取り組む人材の育成
- 入学者受入方針、卒業生の到達目標、教育課程編成・実施方針に基づく教育課程の編成
(学部教育)
- 人間教育の実施による倫理観をもった医療人の育成
(大学院教育)
- (専攻科教育)

2 教育の実施体制等

- 教職員の適正配置及び組織的な教育実施体制の整備
- 教員の適正な評価の実施
- 設備、図書等の計画的な整備

3 学生への支援

- 留学生を含む学生の学習・生活支援体制の充実

【研究】

1 研究水準及び研究の成果等

- 地域医療に貢献する先進的な研究の推進
- 重点分野における独創的な研究の推進

2 研究の実施体制等

- 研究者の確保・配置並びに組織的な研究が可能な体制の整備
- 若手研究者への支援体制の強化
- 研究環境の整備及び充実

【附属病院】

1 病院運営

- 診療体制の充実
- 業務の効率化と財務内容の改善
- 本院と分院の機能分担

2 地域医療への貢献と医療の実践

- がん治療等対策の強化
- 救急医療体制、高度医療の充実
- 患者本位の医療の実践
- 地域の医療機関との連携強化

3 教育及び研修機能の充実

- 医療従事者及び学生等に対する研修・実習等の充実

【地域貢献・産学官連携・国際交流】

1 地域貢献

- 公的病院・診療所との連携強化・支援
- 県内の医療従事者等に対する研修・実習機会の提供
- 県民への生涯学習の機会の提供
- 県等が実施するプロジェクトへの積極的な参画

2 産学官の連携

- 産業界等との共同研究の推進

3 国際交流

- 外国の大学等との連携・交流による大学機能の活性化

【業務運営】

1 法令・倫理等の遵守及び内部統制システムの構築

- 教職員の意識改革の推進
- チェック体制の強化

2 教育研究組織の見直し

- 柔軟かつ機動的な編成

3 人材育成・人事の適正化

- 人材育成制度の充実
- 適正人員数の検討、労働環境の整備
- 多様な任用制度の導入

4 事務の効率化・合理化

- 高度な専門性を有する事務組織の構築

【財務】

- 外部資金の獲得及び自己収入の増加
- 管理的経費の節減による財務内容の向上
- 資産の安全かつ効率的・効果的な運用

【施設・設備、安全、基本的人権の尊重】

- 既存設備等の有効活用及び適正管理
- 危機管理体制の確立
- 基本的人権を尊重した職場環境等の構築

連携

公立大学法人和歌山県立医科大学現行中期目標の概要

法人の基本的な目標

- (1) 高等教育及び学術研究の水準の向上に資する。
- (2) 高度で専門的かつ総合的な能力のある人材の育成を行う。
- (3) 学生の修学環境の充実を図る。
- (4) 高度で先進的な医療を提供する。
- (5) 地域の保健医療の発展に寄与する活動を行う。
- (6) 地域に生涯学習の機会を提供する。
- (7) 地域社会との連携及び産学官の連携を行う。
- (8) 人類の健康福祉の向上に寄与するための活動を行う。

中期目標の期間
平成18年4月1日～
平成24年3月31日

**自主性・自律性を発揮して活性化
地域・社会への貢献、開かれた大学**

法人は、中期目標を達成するため、
具体的な施策を検討し、中期計画を策定

自己点検・第三者評価の実施、情報公開

【個別目標の要旨】

教育研究等の質の向上

教育

- 1 教育の成果
 - ・幅広い教養、豊かな思考力と創造性を涵養し、豊かな人間性と高邁な倫理観に富む資質の高い人材を育成
 - ・医学又は保健看護学を中心とする高度で専門的かつ総合的な能力を身につけた人材を育成
 - ・コミュニケーション能力及びリーダーシップを備えた、協調性の高い人材を育成
 - ・地域医療及び健康福祉の向上に寄与するとともに、国際的にも活躍できる人材を育成
- 2 教育内容等
 - ・地域の高等学校との連携の下に、多様な人材の獲得努力
 - ・医療現場での実習の充実を図り、地域医療等について理解と関心を深めるための教育を推進
 - ・幅広い教養、豊かな人間性及び思考力・創造力を形成するため、教養教育と人間教育を充実
 - ・厳正な成績評価を実施
- 3 教育の実施体制等
 - ・教職員を適切に配置し、組織的な教育実施体制を整備
 - ・大学の組織的な教育活動及び個々の教員の教育活動に対する評価を継続的に実施

研究

- 1 研究水準及び研究の成果等
 - ・地域医療に貢献する研究を推進し、人々の健康福祉の向上に寄与
 - ・先端的で学際的かつ学融合的な分野の研究を推進
- 2 研究成果の社会への還元
 - ・大学の研究成果を広く社会に発信し、県民の健康福祉の向上に寄与するとともに、産業界、NPOその他の民間団体等における応用を推進
- 3 研究の質の向上
 - ・研究者がより意欲的に研究に取り組めるような評価制度を検討・実施

附属病院

- 1 教育研修機能の充実、研究の推進
 - ・総合診療能力の育成のため、地域の医療機関との連携した卒後教育の充実
 - ・難治性疾患等の原因解明や診断・治療方法の開発
- 2 地域医療への貢献と医療の実践
 - ・地域医療の中核機関として高度医療の充実
 - ・患者に信頼される患者本位の立場を再確認し、より良質な医療を实践
 - ・安全で質の高い医療を提供するための管理体制を確立
- 3 本院と紀北分院の連携
 - ・役割分担により連携
 - ・地域特性を踏まえ紀北分院の機能充実

地域貢献・産学官連携・国際交流

- 1 地域貢献
 - ・県行政及び地域の医療機関との連携及び交流により、救急医療等の医療体制の充実支援
 - ・医師をはじめとする医療従事者の充実に寄与
 - ・研究成果の社会への還元
 - ・医療従事者への研修の機会を提供
 - ・地域住民へ生涯学習の機会を提供
 - ・県及び市町村が実施するプロジェクトへ参画
- 2 産学官の連携
 - ・大学の特性を活かし、基本的な理念や方針を明確にし、主体的かつ戦略的な取組
- 3 国際交流
 - ・外国の大学や研究機関との連携・交流による大学機能の活性化

業務運営等の改善

業務運営

- 1 運営体制の改善
 - ・県民の健康福祉の向上のため、地域における医師をはじめとする医療従事者の充実に寄与するための全学的な地域医療支援組織を構築
- 2 教育研究組織の見直し
 - ・学術研究の動向や社会の要請等に適切に対応し、柔軟かつ機動的に編成
- 3 人事の適正化
 - ・多様な任用制度の導入
 - ・人材育成制度の充実
- 4 事務等の効率化
 - ・法人経営と教学の双方に精通した高度な専門性を有する事務組織の構築

財務

- ・外部研究資金等の自己収入の増加
- ・予算を効率的に執行、財務分析、管理的経費の見直し及び節減

施設・設備、安全・危機管理、人権の尊重

- ・紀北分院の医療環境整備、既存施設の有効活用
- ・患者、学生、職員、周辺住民等の安全・衛生確保のための体制整備と組織を挙げた取組
- ・危機管理体制の確立
- ・基本的人権を尊重、常に人権を念頭においた取組

連携